

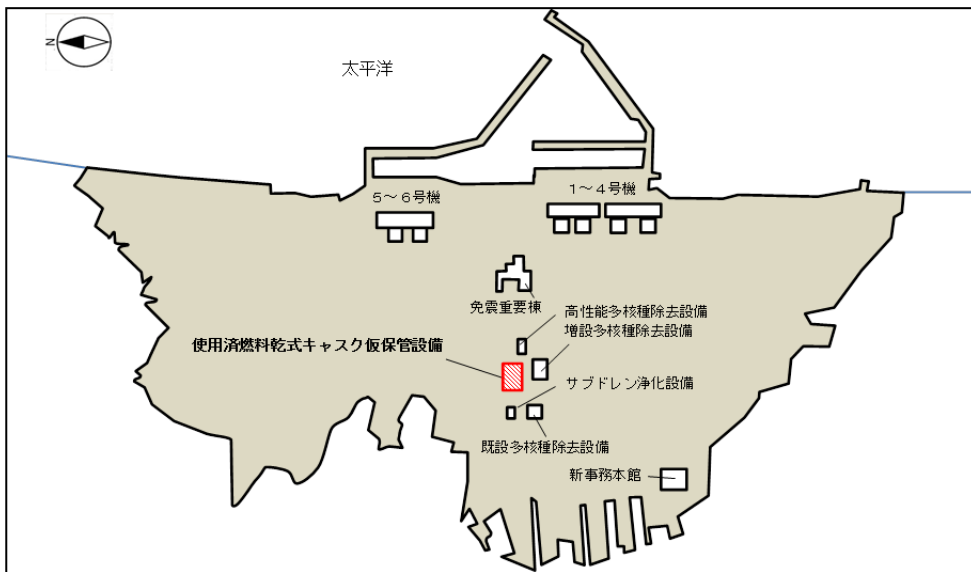
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和4年6月22日（水）
- 2 確認箇所
使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
- 3 確認項目
使用済燃料乾式キャスク仮保管設備の現況

4 確認結果の概要

6号機使用済燃料プールに保管されている燃料については、本年中頃から取り出し、共用プールにおいて保管、管理される計画となっている。共用プールにおいては、6号機使用済燃料プールから取り出した燃料を保管するスペースを確保するため、現在保管している使用済燃料を使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（以下「キャスク仮保管設備」という。）に移送するための作業が開始されていることから、移送先のキャスク仮保管設備の現況を確認した。（図1）（前回確認日：[令和元年12月26日](#)）

- ・現在のキャスク仮保管設備は65基分の乾式キャスクを保管する容量があり、前回確認時と変わらず、3つのエリアに合計37基の乾式キャスクがコンクリートモジュール内に保管されており、それぞれエリア放射線モニタが設置されていた。（写真1）
- ・また、エリア内にはコンクリートモジュールを構築するためのコンクリートパネルなどの資材が保管されていた。（写真2）
- ・令和2年9月29日付で原子力規制委員会から増設（15基分）の変更認可を受けたエリアには、乾式キャスクのコンクリート支持架台が15基分設置されていたが、エリア放射線モニタはまだ設置されていなかった。
（写真3）
- ・キャスク仮保管設備内の空間線量率は0.4～0.5 μ Sv/hであり、周囲のバックグラウンドと同程度であった。
- ・確認した範囲では、コンクリートモジュールのひび割れや破損は確認されなかった。
- ・なお、前回確認時には未接続であった乾式キャスク側の雷サージ対策の接地線が接続されていることを確認した。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



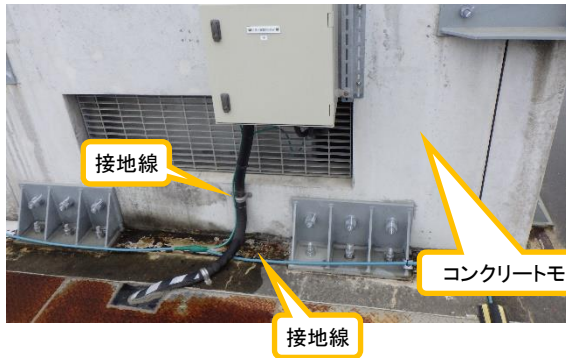
(写真1)
エリア放射線モニタの設置例



(写真2)
コンクリートパネル等の資材の保管
状況



(写真3)
コンクリート支持架台の設置状況



(写真4)
接地線の接続状況の例

※コンクリートモジュール内に乾式キャスクが保管されている。

5 プラント関連パラメータ確認

3号機原子炉格納容器内の温度計（格納容器空調機戻り空気温度TE-16-114 A）が、3号機他の温度計と異なり低下傾向を示していることから、今後の推移を注視する。

その他の各パラメータに異常な値は確認されなかった。